

TRUCK INFORMATION WAKAYAMA

トラック情報



公益社団法人 和歌山県トラック協会



2023

1

CONTENTS

協会だより

2~11 年頭のご挨拶

12 会員だより

12 栄えある表彰おめでとうございます

13 令和4年度安全性優良事業所近畿運輸局長表彰式が行われました

13 令和4年度安全性優良事業所和歌山運輸支局長表彰式が行われました

14 理事会が開催されました

15 広報委員会が開催されました

15 求人情報サイトの構築について

16 「インボイス制度施行に向けた説明会」並びに「運輸防災マネジメント講習会」が開催されました

17 令和4年度 物資輸送・災害情報収集伝達訓練が開催されました

17 鳥インフルエンザに係る資材輸送協力を行いました

18 2022年度各種助成金 申請状況

18 和歌山第1・第2ブロック親睦ゴルフコンペが開催されました

19 軽油価格調査集計表

20 協会日誌

21 自動車安全運転センターのページ

22~23 近畿交通共済のページ

謹賀新年

新春を迎え、会員皆様方の

ご多幸と事業の益々のご繁栄を

お祈り申し上げます。

令和五年 元旦

公益社団法人和歌山県トラック協会

会長 阪本享三

副会長 小浦正臣

副会長 榎本智信

副会長 横山郁芳

副会長 和田耕司

副会長 藪本恵三

専務理事 和佐純宏

職員 一同



年頭のご挨拶



公益社団法人和歌山県トラック協会
会長 阪本 享三

明けましておめでとうございます。

令和5年（2023年）の新春を迎えるに当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、皆様方には当協会の事業推進につきまして格別のご理解とご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

昨年を顧みますと、トンガ諸島で海底火山の大規模噴火で太平洋沿岸の広い地域で津波が観測され日本でも漁船が転覆するなど被害の発生、北京冬季五輪開催、ロシアがウクライナ東部の親ロシア派支配地域の独立を承認しウクライナに侵攻、40年ぶりとなる国連安全保障理事会がロシアのウクライナ侵攻に対する国連総会の開催を要請し賛成多数で採決、国際パラリンピック委員会が北京パラリンピック冬期競技大会にロシアとベラルーシの大会出場を認めないと発表、NATOをはじめとする各国がウクライナへの兵器の供与、韓国大統領選挙が行われ保守系最大野党「国民の力」候補の尹錫悦前検事総長が当選、アマゾンがニューヨークの物流拠点で米国初の労組結成、フランス大統領選挙の決選投票が行われ現職のエマニュエル・マクロン氏が再選、米電気自動車大手テスラのイーロン・マスク氏がツイッターを買収、フィリピン大統領選が行われ故マルコス元大統領の長男のフェルディナンド・マルコス元上院議員が当選し副大統領にドゥテルテ大統領の長女サラ氏が当選、米南部テキサス州の小学校で銃乱射があり児童19名教師2名が死亡、北朝鮮が異例の弾道ミサイル4カ所から8発発射、アフガニスタンで地震があり死者約1,000人、度重なる不祥事に虚偽の説明をしたことなどが世論の批判を浴びジョンソン英首相が辞任し新首相にリズ・トラス氏が就任したが減税策撤回などで迷走し就任わずか44日で辞任し次期首相にスナク元財務相が就任、経済危機が続くスリランカで政府に対する大規模な抗議デモを受けて大統領が国外に脱出、米国連邦議会のナンシー・ペロシ下院議長が25年ぶりに台湾を訪問、機密文書を持ち出した疑いでトランプ前米大統領の邸宅をFBIが家宅搜索、エリザベス女王逝去、台湾の東部でマグニチュード6.8の地震発生、ロシア外務省が在ウラジオストック日本総領事館領事の国外退去を命じる、日本も対抗措置としてロシア領事1人を国外退去へ、ロシアのプーチン大統領がウクライナ東・南部4州の占領地をロシアに併合、北朝鮮のミサイルが5年ぶりに日本上空を通過、中国共産党の

習近平総書記の3期目続投、韓国のソウル梨泰院で路地に密集した大勢の人が折り重なるように倒れる事故が発生し156人が死亡・151人が負傷、インド西部グジャラート州モルビで橋が崩落して140人以上が死亡、ブラジルの大統領選挙が行われ左派で元大統領のルラ氏が勝利、中国の宇宙ステーション「天宮」が完成、ウクライナで日本人志願兵が死亡、トルコのイスタンブールの繁華街で爆弾テロにより6人が死亡・81人が負傷、アメリカの中間選挙が行われ与党・民主党が議会上院で半数の議席を獲得・下院では共和党が過半数を奪還、ウクライナ国境近くのポーランドにロシア製ミサイルが着弾し2人が死亡、トランプ氏が2024年の米大統領選挙に出馬表明、NASAが月面を探索する「アルテミス計画」の1号機となる無人の宇宙船を打ち上げ、北朝鮮がICBMを発射し日本の排他的経済水域内に落下、史上初めてサッカーのワールドカップが中東のカタールで開催されアルゼンチンが36年ぶり3回目の優勝、G7とEU・豪州はロシアへの追加制裁としてロシア産原油の上限価格を60ドルに、インドネシアのジャワ島のスメル火山で大規模な噴火が発生、ペルーのペドロ・カスティジョ大統領が議会の解散を図りその数時間後に議会で弾劾が決議され失職しディナ・ボルアルテ副大統領が同国初の女性大統領となりカスティジョ大統領は「反逆」の疑いで逮捕されるなどがあり、ロシアのウクライナ侵攻問題やそれを発端とする燃料価格高騰問題等の対応に追われました。

国内では、新型コロナウイルスの第7波で国内全域で感染者の急激な増加、小笠原諸島で震度5強の地震発生、ソニーが新型EVを開発・販売するための新会社「ソニー・ホンダモビリティ」を設立し2025年内に発売を目指す、香川県の受験生が大学入学共通テストの世界史Bの試験問題を電子機器などで撮影して流出させる、日向灘を震源とする地震があり大分県と宮崎県で震度5強、普天間基地の辺野古移設などが争点となった沖縄県の名護市長選挙で与党が押す現職の渡具知武豊氏が当選、ガソリン価格等の高騰を抑制するため石油元売り会社へ補助金1リットルあたり25円を支給、小松基地所属の航空自衛隊のF15が離陸直後海に墜落して乗員2人が死亡、宮城県・福島県で震度6強の地震が発生し関東で大規模停電並びに東北新幹線が脱線し2日後には岩手県で震度5強の地震が発生、宮城県・福島県での地震の影響による一部発電所の停止や気温低下が重なったため東京電力・東北電力管内で電力需給逼迫警報が出る、改正民法が施行され成人が20歳から18歳へ、知床半島沖で観光船が沈没し死者・行方不明者26名、高度な先端技術の流出防止や医薬品など経済や生活に欠かせない重要物資の確保などをねらう経済安全保障推進法が成立、福島県で震度5の地震の発生、バイデン米大統領の訪日、日米豪印4カ国の枠組み「クアッド」首脳会議の開催、鶏卵汚職事件で吉川元農水相に有罪判決、インターネット上の誹謗中傷への対策とした侮辱罪の厳罰化や刑罰から懲役と禁錮をなくし新たに拘禁刑をつくる刑法改正案が設立、こども家庭庁設置関連法成立、石川県能登地方で連日震度6・震度5の地震の発生、熊本県で震度5弱の地震、KDDIの回線で大規模な通信障害が発生し各方面に影響、奈良で参議院選挙応援演説を行っていた安倍元総理が手製の銃で撃た

れ死亡し国葬が行われる、参議院選挙が行われ自民党単独過半数となる与党圧勝、鹿児島県の桜島で爆発的な噴火が発生し噴火警戒レベルが初めて最も高いレベル5に、国内で初の「サル痘」感染者確認、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会の元理事が大会スポンサーのAOKI・KADOKAWAなどから金銭を受け取っていた問題で4度の逮捕、山形・新潟・北陸・青森等で記録的な大雨により被害が出る、静岡県牧之原市の認定こども園で通園バスに取り残され熱射病で3歳児が死亡する事件が発生し沖縄県でも糸満市営の市内周遊バスで児童が置き去りに、安倍元総理の殺害で発覚した旧統一教会との関係で自民党所属の国会議員全体の半数近くにあたる179人が旧統一教会との接点があったと判明、沖縄の知事選挙が行われオール沖縄が押す現職の玉城デニー氏が再選、西九州新幹線の開業、台風15号に伴う大雨等の影響により静岡県清水区の広範囲で断水、円高に対する日本銀行の介入、かっぱ寿司の社長がはま寿司の営業機密データを不正取得したとして不正競争防止法違反で逮捕、宮崎県で最大震度5弱の地震、海外からの個人旅行が解禁され新型コロナウイルスの水際対策が大幅に緩和、国内旅行の代金を補助する「全国旅行支援」が開始、衆議院小選挙区定数を10増10減し1票の格差を是正する公選法改正案を閣議決定、山際経済再生相が旧統一教会との関わりが相次いで表面化したため辞任し後任に後藤茂之前厚生労働大臣が就任、政府は電気料金の家庭負担を約2割軽減する方針を固める、9年前に発生した王将フードサービス社長射殺事件の犯人として特定危険指定暴力団工藤会系組幹部が犯人として浮上し逮捕、特定の条件下で運転を完全に自動化する自動運転の「レベル4」の運行許可制度を盛り込んだ改正道路交通法の施行並びに自動配送ロボットを運行する事業者の届け出制度の施行を本年4月1日に目指す、442年ぶりの皆既月食と天王星食の発生、茨城県等で震度5強の地震の発生、トヨタ自動車やNTT・ソニーグループなど国内企業主要8社が次世代半導体の国産化に向けた新会社を設立、死刑執行に関する職務を軽視するような発言をした葉梨康弘法相を事実上の更迭し後任に齋藤健元農水大臣が就任、靈感商法への対応などを強化するため消費者契約法と国民生活センター法を改正する一括法案が成立、衆議院選挙の一票の格差是正のため小選挙区を10増10減する改正公職選挙法が成立、政治資金などの問題が相次いだ寺田総務大臣が更迭され後任に松本剛明元外務大臣が就任、塩野義製薬の新型コロナウイルスの飲み薬を緊急承認、東京オリンピック・パラリンピックのテスト大会関連事業をめぐる談合疑惑で東京地検特捜部などが事業を落札した大手広告会社「電通」などを家宅搜索、敵基地攻撃能力保有へ政府の安全保障関連3文書の改定に向けた実務者協議で正式合意、旧統一教会の問題を受けた被害者救済新法が成立、嫡出推定規定を見直した改正民法が成立、民間初の月探査計画を進める宇宙ベンチャー企業の月着陸船の打ち上げに成功するなどがありました。

運輸業界におきましては、燃料価格高騰により国からの地方創生臨時交付金を活用した一部都道府県並びに市町村からの燃料費補助等の実施、日野自動車が型式指定の検査で排ガスや燃費データを偽装で初の型式指定が取り消しされるなど国内販売の大半の車種で

不正が判明、19歳から大型・中型免許取得が可能となる改正道路交通法が施行、名古屋市北区の名古屋高速11号小牧線でバスが横転炎上し2名が死亡、静岡県小山町の県道で観光バスが横転乗客1名死亡・35人が重軽傷する事故、25年ぶりとなる自動車運転者の労働時間等の改善のための基準（改善基準告示）の改正、貨物軽自動車運送事業の車両登録が軽乗用車でも可能に、新型コロナウイルスの影響で自粛していた「トラック運送事業者全国大会」が3年ぶりに開催されるなどがありました。

和歌山県に於きましては、有田のエネオス製油所が今秋に操業停止し航空燃料SAFの製造をすると発表、和歌山県が進めていたIR整備計画の国への申請案が県議会で否決され頓挫、日高川町の和歌山南陵高校で給料未払いにより教職員が異例のストライキ、仁坂知事が5選不出馬を表明、RORO船の定期航路就航、自民党和歌山県連が知事選挙に独自候補を擁立しようとしたが町村会の賛同を得られず断念、和歌山県串本町で人工衛星用ロケットの打ち上げを目指している民間の宇宙事業会社が本年予定していた初号機発射を今年2月末に延期、アドベンチャーワールド並びに和歌山市で鳥インフルエンザの発生、和歌山県知事選挙が実施され前衆議院議員の岸本周平氏が当選などがありました。

トラック協会におきましては、新型コロナウイルスの影響によりトラックの日のイベントも自粛し、昨年同様マスメディアを利用した広報や会員事業所の協力を得て各地でグッズを配布するなどトラック運送事業者が担う役割を広く県民に理解して頂く事業の展開、燃料価格高騰を受け、和歌山県や各市町村から地方創生臨時交付金を活用した燃料の補助金を出して頂ける様、役員や会員の方にご協力頂いて陳情を実施しました。また以前に撮影した高速道路の東京料金所での深夜割引待ちの大渋滞や各サービスエリアやパーキングエリアでの大混雑を国民や関係官庁に知ってもらうためにDVDに編集し、関係先に配布やホームページに掲載するなど、トラック運送事業の労働問題についての広報を実施など新型コロナウイルスへの対応や労働時間問題・燃料価格高騰対策に取り組んで参りました。

また、和歌山市で発生した鳥インフルエンザに対応するため、和歌山県の依頼により、会員事業所の協力を得て物資輸送に出動しました。

本年は、新型コロナウイルスがまだ終息した訳ではないので、以前と同じ規模の事業にまだ戻せませんが、2024年4月に差し迫った改善基準告示や時間外労働等の労働時間問題への対応、標準的な運賃や燃料サーチャージの収受の促進を強力に推し進め、荷主の理解と協力が得るような事業の展開と、自粛していたトラックの日イベントや一般県民を招待しての物流セミナー等の再開などを実施して参りたいと存じますので、関係行政機関・団体のご支援並びに会員事業所のご協力をよろしくお願い申し上げます。

もとより微力な私ではありますが、これからも公益社団法人として、公益性のある事業により一層取り組み「産業と国民の生活を守る」トラック運送業界であるよう、また極めて厳しい折柄ではありますが会員皆様の事業所が繁栄するよう最善の努力を致しますので、会員の皆様をはじめ関係各位におかれましては、本年も変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、一層のご多幸と事業のご繁栄を祈念して新年のご挨拶と致します。



近畿運輸局和歌山運輸支局長
泉 野 俊 信

1. はじめに

新年、あけましておめでとうございます。

令和5年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

関西では、これまで観光需要、特にインバウンド需要が旺盛でしたが、3年近くにもおよぶ新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地域経済を支える交通・観光産業は大きな打撃を受けました。

さらに、コロナ禍からの世界経済の回復に伴う原油の需要増やロシアによるウクライナ侵略などの地政学的な変化が、世界の原油価格や需給に大きな影響を与えており、我が国の産業経済活動を支えるトラック運送、海上運送及び倉庫等の物流業界を取り巻く環境は、依然厳しい状況が続いているものと認識しております。

こうしたなか、昨年10月には、政府による水際対策の大幅な緩和とともに、全国旅行支援が実施され、さらに、新たな総合経済対策として、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」が閣議決定されました。

交通・観光・物流産業が関西経済の回復・活性化に果たす役割は大きく、当局としましては、総合経済対策に掲げられた施策を着実に実行するとともに、2025年大阪・関西万博の開催に向けて、インバウンドを始めとした観光需要を取り戻すため、関係機関と緊密に連携・協働しつつ、観光政策・交通政策を一体的に推進いたします。

また、交通・観光・物流関係事業者の事業活動を支えるため、引き続き、各種支援制度の周知徹底をはじめとした総合的な支援を講じてまいります。

2. 取組み方針

新年にあたり、観光・運輸行政に関して、和歌山運輸支局では「2025年大阪・関西万博に向けた観光政策と交通政策の一体的な推進」、「公共交通の整備・維持確保」、「生産性の向上・人材の確保等・環境対策の実施」及び「安全・安心の確保やバリアフリー対策の実施」の4つの柱を中心に進めてまいります。

(1) 2025年大阪・関西万博に向けた観光政策と交通政策の一体的な推進

観光産業につきましては、昨年10月11日に全国旅行支援が開始され、入国者数の上限撤廃・個人旅行やビザ無し渡航についても解禁となり、ようやくインバウンド観光が本格的に再開されたため、関西においても、本格的な人流の回復が期待されたところです。

さらに、同月には、政府による「インバウンドの本格的な回復に向けた政策パッケージ」が決定され、今後は、新たな「観光立国推進基本計画」の策定等、インバウンド消費5兆円超の速やかな達成を目指すための集中的な取組みが展開されます。

当局では、これらの政策の方向性を踏まえ、ウィズコロナ下における世界的な旅行需要の回復を見据えつつ、2025年大阪・関西万博の開催に向けた取組みを全力で推進しているところです。

昨年10月に交付された「大阪・関西万博特別仕様ナンバープレート」については、大阪・関西万博の開催に向けた機運を醸成するため、引き続き、普及に取り組んでまいります。

また、和歌山県では、串本町の民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」により令和4年度中の第一号発射に向け順調に進められているほか、世界遺産をはじめ歴史・文化・自然など数多くの魅力的な観光資源も有しており、地域公共交通の確保・維持・活性化や地域活力の増進のためにも、安全

で集客力のある観光資源への磨き上げや受入環境の整備と誘客を進めてまいります。

当局としましては、これら国際イベント等を契機とし、関西に世界中の注目と、さらに和歌山にも人が集まることを期待するとともに、集客効果を戦略的に活用し、観光再生の契機とし、地域の発展に寄与してまいりたいと考えています。

(2) 公共交通の整備・維持確保

生活交通の維持・確保のためには、地方公共団体が自らの地域における公共交通のあり方を検討し、「地域公共交通計画」の策定を進めることが重要です。当局においても、同計画の策定に向けた積極的な支援を引き続き実施してまいります。

乗合バス事業については、新型コロナの影響により利用者数は回復傾向にあるものの、テレワークなどの新しい生活様式の浸透や外出機会の減少により、コロナ禍前までは回復しておらず、今後も不透明な状況が続いていくものと考えています。

また、自動車運転者については、働き方改革関連法により2024年4月から罰則付きの時間外労働の上限規制（年960時間）が適用され、厚生労働省において改善基準告示の改正作業が進められているところです。

持続的にバス路線を維持していくためには、厳しい経営環境の中、運送需要に応じた適正な運行見直しを図っていくとともに、働き方改革や、燃料価格上昇への対応、必要な設備投資など、必要な運送原価を適切に反映した運賃収受も考えていかなばならなくなっています。

当局としましては、各種補助制度による支援を着実に講じていくほか、地域の公共交通機関である乗合バス路線を持続可能とするための取組みを進めてまいります。

タクシーについては、LPガスの価格高騰による負担軽減のため、資源エネルギー庁が実施している原油価格高騰の激変緩和制度に準じて、タクシー事業者に支援しているところです。

タクシーは、地域住民の日常生活や外出を支援する公共交通機関として重要な役割を担っており、全国に広がるデマンド交通はもちろん、小規模な集落では住民による相乗り運送等により、地域交通として期待されていますので、タクシーによる地域交通の確保にも取り組んでまいります。

(3) 生産性の向上・人材の確保等・環境対策の実施

①生産性の向上・人材の確保等

物流分野については、重要な社会インフラではありますが、労働力不足や自動化・機械化への対応、EC市場の急成長、トラックドライバーの時間外労働の上限規制等が適用される2024年問題、自然災害の激甚化・頻発化、新しい生活様式への対応、カーボンニュートラル及び原油価格高騰など、数多くの課題に直面しています。

物流機能を十分に発揮させていくためには、これまで進捗しなかった物流の構造改革や生産性向上に向けた取組みを加速度的に促進させる必要があるとともに、ウィズコロナ下の社会情勢においては、物流産業におけるDX（物流DX）を積極的に推進することが重要です。

当局としましては、物流企業だけではなく、荷主企業や卸し・小売りなど、生産・流通に関わる全てのステークホルダーとも連携しつつ、「物流総合効率化法」に基づく、輸送網の集約や鉄道・船舶によるモーダルシフト、輸配送の共同化、貨客混載事業の推進のほか、無人搬送車やピッキングロボットといった省人化・自動化への転換・促進など物流の効率化を図る事業に対する計画の認定や支援措置に引き続き取り組みます。

自動車運送事業における運転者不足の課題については、労働力の掘り起こしとして、女性や若年者層から就職の対象職種として認識してもらえるよう、国土交通省が取り組むバス・タクシー事業における二種運転免許の取得支援をはじめ、賃金の改善、労働環境の改善や短時間勤務など働きやすい勤務体系の構築、週休日の増加、正社員への登用を通じた待遇改善を図っていく必要があります。

国土交通省では、職場環境改善に向けた自動車運送事業者の取組みを「見える化」することで、求職者の運転者への就職を促進し、各事業者の人材確保の取組みを後押しすることを目的として、「働きやすい職場認証制度」の取組みを推進しております。

この取組みは、2020年度以降「一つ星」のみの申請を受け付けておりましたが、認証を取得し

た事業者のより高い水準への移行を促すため、令和4年度から「自主性・先進性等」を認証項目に加えた「二つ星」についても導入しております。令和5年以降についても、こうした取組みを進めてまいります。

また、自動車運送事業の点呼業務にITを活用した高度なシステムを導入することにより、運行管理者の業務の効率化等労働時間の改善を促進します。

自動車の点検整備、車検制度におきましても、自動車技術の進化に対応するためのアップデートが順次進められております。令和2年4月には「特定整備工場」の認証制度が施行され、本年1月から電子車検証の交付がはじまりました。令和6年10月からはOBD検査の開始が予定されております。スキャンツールを活用した自動車の点検整備、検査の新制度の普及に努め、新技術に対応する取組みを進めてまいります。

また、人材の確保については、少子化の進展、若者の職業志向の変化により、自動車整備業界を含む多くの業界において、若手人材の確保が課題となっており、すでに業種を超えた「若手の獲得競争」の渦中にあります。

現在、当局では、高校生に自動車整備士を将来の選択肢としてアピールするため、学校を訪問し自動車整備士の魅力やその役割の重要性を伝える取組を実施しており、自動車整備人材の確保・育成に取り組んでまいります。

海事分野においては、我が国の国民生活や経済活動を支える基幹的輸送インフラとして重要な役割を果たしております。管内のフェリー・内航海運業者は、災害時の緊急輸送手段としての重要性が改めて認識されているほか、近年のトラック運転者不足等のなか、モーダルシフトの受け皿として、物流の生産性向上・環境対策に重要な役割を担っております。

そのようななか、令和4年10月より毎週土曜日に、愛媛県から千葉県へ向かうRORO船が和歌山下津港に寄港することとなりました。これにより、陸上輸送よりもCO2等の排出が抑えられるとともに、長時間・長距離輸送を抑制しドライバー不足に対応できるため、陸上輸送の利便性と海上輸送の効率性・環境負荷低減を両立できる輸送手段として期待されているところです。また、県内の産業や物流の一層の活性化・効率化に寄与するものと考えております。併せて、和歌山～徳島フェリー航路についても和歌山県の物流・観光の振興に大きく寄与するものであり、引き続き、モーダルシフトの促進や航路の維持・活性化に取り組んでまいります。

高齢化が顕著であった内航船員については、官民による若年内航船員確保推進事業により、やや改善しつつあるものの、一方で海上労働の特殊性から若年船員の定着化が進まないという新たな課題も生じております。これらの課題を受け、労働環境の改善を図り若年者にとって魅力ある船員職場とするため、船員の働き方改革の一環として、令和4年4月に施行された船員法等において新たな労務管理の制度が義務づけられたことから、船員の過労防止に向けた同制度が適切に運用されるよう事業者及び船舶に対する監査等で適切に指導してまいります。

生産性の向上にも資することとなる自動車検査登録関係手続きのデジタル化につきましては、本年1月に開始しました自動車検査証の電子化に伴う検査・登録手数料等のキャッシュレス決済や窓口での申請手続きの進捗状況の「見える化」を図るため、審査状況確認システムを導入する等、ユーザーの利便性向上を講じるとともに、自動車検査証の受取りのための来訪を不要とする「記録事務等代行制度」を導入すること、また関係者の皆さまに直接ご意見をお伺いする機会を設けていくなど、自動車保有関係手続きのワンストップサービス（OSS）の更なる利用率向上を図るとともに、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進してまいります。

②環境対策

我が国においては、2050年カーボンニュートラル目標に向けて、温室効果ガスの削減目標を従来の「2030年度に2013年度比で26%削減」から「46%削減へと大きく引き上げ、さらに、「50%削減」の高みに向け挑戦を続けることとされています。

当局においても、事業用車両への次世代自動車の普及促進やグリーンスローモビリティ等の新たなモビリティサービスの導入促進、エコ通勤の普及促進のほか、物流総合効率化法の枠組みによる支援をはじめとしたグリーン物流の推進など、様々な分野での取組みを通じて、持続可能で強靱なグ

リーン社会を将来世代に引き継いでいけるよう、総力を挙げて取り組んでまいります。

(4) 安全・安心の確保やバリアフリー対策の実施

①安全・安心の確保

海上輸送の安全については、令和4年4月、北海道知床半島沖において小型遊覧船が沈没する大変痛ましい重大事故が発生したことを受け、当局では旅客船の安全・安心に向けた緊急対策に取り組んできました。昨年12月には、運輸安全委員会から事故要因等の経過報告書が公表されるなど事故調査も進展しております。当局では、同報告書を踏まえた緊急点検など安全対策・事故防止のさらなる取り組みに全力を尽くしてまいります。

今後は、交通政策審議会海事分科会の答申を受け、所要の法令改正が行われることとなりますが、改正後は、旅客船の総合的な安全・安心対策を速やかに実施いただくことになるため、関係者に対して周知を図ってまいります。

自動車運送事業の輸送の安全については、「事業用自動車総合安全プラン2025」に沿って関係機関や業界団体との連携を密にした取り組みを進めるとともに、監査による法令遵守の確認、特に貸切バスについては街頭監査を含めた監査等により、悪質な法令違反が確認された事業者に対しては厳正に対処してまいります。

さらに、同プランで策定された重点施策に基づき、「健康管理マニュアル」や「脳血管・心臓疾患対策ガイドライン」等の更なる周知を図り、適切な健康管理の徹底と、飲酒運転やあおり運転等の悪質運転違反の根絶に向け、関係者の皆様と一丸となって、事故・違反のない安全・安心な交通社会の実現に向け取り組んでまいります。

これら運輸事業の安全・安心の確保のためには、経営トップから現場まで事業者自らが社内一丸となった安全管理体制を構築し、積極的に取り組むことが不可欠です。

安全思想の普及・強化に向けて、引き続き運輸安全マネジメント制度を推進してまいります。

防災・危機管理対応については、近年、豪雨や大型の台風等による自然災害が全国各地に甚大な被害をもたらしています。これら災害に対して迅速かつ適切に対応することが最大の課題です。関係自治体、関係事業者等と連携をとりながら防災危機管理体制の更なる強化・向上を図ってまいります。

また、運輸事業者は、自然災害発生時等での被害軽減、拡大防止を図るとともに、業務活動の維持、早期回復が求められています。防災体制の構築及び実践に当たってのガイダンスとなる「運輸防災マネジメント指針」（防災指針）については、運輸安全マネジメント評価を通じ、制度の充実を図ってまいります。

②バリアフリー対策

高齢者、障がい者等が、いつでもどこへでも、安全・安心かつ円滑に移動し、施設を利用することができる社会の実現が求められています。そのためにはハード整備とともに、ソフト面における取り組みが重要です。

バリアフリー法に基づき、「心のバリアフリー」に係る施策などソフト対策等が強化され、バリアフリー化された施設等の適正利用について、国民に向けた広報啓発が、国の責務にあります。高齢者、障がい者等が、車両等の優先席や障害者トイレなどバリアフリー化された施設の円滑な利用を確保する上で、必要となる適正な配慮について、広報活動、啓発活動等通じ、国民の協力を求めるなど、「心のバリアフリー」対策に、より一層、取り組んでまいります。

3. おわりに

以上、新しい年を迎え、所信を申し述べました。

ウィズコロナの下、政府の方針や政策の方向性を踏まえ、交通・観光・物流を中心に、「関西経済の本格的な回復・好循環」に向けた施策を着実に推進し、国民生活の向上と関西の発展に貢献してまいりたいと考えています。

本年も、当局の行政の推進に関し、皆様方からのご支援ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



和歌山県知事

岸 本 周 平

あけましておめでとうございます。

公益社団法人和歌山県トラック協会の皆さまには、心新たに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は、知事就任後、初めての新年を迎え、改めて、県民の皆さまからの負託に全身全霊で応えていくことを強く誓ったところです。

トラック輸送は、国内貨物の9割に及び輸送量を占め、日本経済と国民生活を支える重要な産業であり、大規模災害時には、救援物資輸送の担い手として、なくてはならない存在でもあります。

貴協会におかれましても、県経済の発展に大いに貢献されるとともに、大規模災害に備えた県内全市町村との緊急物資輸送に係る協定締結など、災害対策においても多大なる御尽力をいただいていることにお礼を申し上げます。

昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻や円安の進行、物価高騰など、私たちの日常生活をも揺るがしかねない大きな出来事が相次ぎました。

一方、和歌山県におきましても、止まらない人口減少や少子化への対応、南海トラフ地震など自然災害への備えなど大きな課題を抱えております。

知事選では、「和歌山が最高!だと 子どもたちが思う未来を!」と訴えてきました。私が目指すこの未来は一朝一夕に実現するものではありませんが、その扉に向かって着実に歩みを進めていくため、県民の皆さまの声を直接お聞きし、県庁をあげて、開かれた温かみのある県政を行ってまいります。

さらに、全国で活躍している幅広い分野の方々にアイデアを出してもらうプラットフォームを作り、県内で頑張っておられる方々の知恵と力を合わせて、ワクワク、ドキドキするような和歌山県活性化のプロジェクトを発信していきます。

本年は、目前に、小型ロケット「カイロス」が、串本の地から打ち上げられようとしています。また、インバウンド観光の回復も予想される中、弘法大師御生誕1250年を迎えるなど、本県にとって、まさにコロナ禍からの反転攻勢に大いに弾みがつく一年になると、期待がふくらみます。

新しい一年が、和歌山県トラック協会の皆さまにとっても、輝かしい年となりますことをお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。

令和4年度安全性優良事業所近畿運輸局長表彰式が行われました

近畿運輸局において、「貨物自動車の輸送の安全」について長期に渡って安全性の徹底等により荷主や社会に対して多大な貢献をもたらしている安全性優良事業所に対し、表彰制度が実施されており、安全性優良事業所（Gマーク）の認定を連続して10年以上受けている事業所で、安全性優良事業所支局長表彰を受賞された事業所の中から、安全対策等について顕著な功績が認められた事業所に贈られるもので、近畿運輸局長表彰式が11月24日に近畿運輸局において実施され、近畿で26社、当県より、(株)鳥羽運送本社営業所が「安全性優良事業所近畿運輸局長表彰」を受賞されました。

栄えあるご受賞おめでとう御座いました。



令和4年度安全性優良事業所和歌山運輸支局長表彰式が行われました

令和4年11月29日、近畿運輸局和歌山運輸支局において、「令和4年度安全性優良事業所和歌山運輸支局長表彰式」が行われました。

この表彰は、平成15年に安全性優良事業所制度が創設され、「安全性優良事業所（Gマーク）」の認定事業所として10年以上の長い期間に渡って認定を受けられている優良な事業所を表彰する制度であります。

当日、泉野和歌山運輸支局長より表彰状の授与が行われ、続いて和歌山県トラック協会小浦副会長より御祝いが渡されました。

栄えあるご受賞おめでとう御座いました。

【受賞事業所】（順不同）

- ・ (株)ファーストライン 本社営業所
- ・ 紀南運輸(株) 本社営業所



理事会が開催されました

開催日時 令和4年11月16日（水）13時30分～14時00分
開催場所 和歌山県トラック会館 3階大会議室
出席者 【会 長】 阪本 享三
 【副会長】 小浦 正臣、榎本 智信、横山 郁芳、和田 耕司、藪本 恵三
 【専務理事】 和佐 純宏
 【理 事】 岡崎 良彦、金谷 直俊、井上 巳喜、大浦 寛海、池田 政隆、
 中嶋 直人、福地 達明、大原 貴美、亀井 茂樹、虎谷 勝之、仮谷 依子、
 柏原 政夫美、杉本 和隆、根矢 一義、野嶋 利基
 【監 事】 高橋 淳之、平野 雅彦、西岡 義高
 【事務局】 上西 克紀、市坪 幸男、嶋田 能久、勢古 博基、宮木 啓之、東山 典暁

議 題

審議事項

- 第1号議案 新規加入会員の承認について
- 第2号議案 次期会長候補予定者について
- 第3号議案 常勤理事の報酬について

協議事項

- 第1号議案 新年理事会について

報告事項

- (1) トラックの日実行委員会委員長報告



議事状況

定刻になり、事務局より開会宣言と出席理事数は定足数を充足し、よって定款第40条の規定により本理事会は適法に成立している旨の報告を行い、阪本会長より開会挨拶の後、定款第39条の規定に基づき、本日の議長に榎本智信理事を指名しました。

【審議事項】

- 第1号議案 新規加入会員の承認について
- ・2社の加入を承認可決しました。

- 第2号議案 次期会長候補予定者について

・令和5年度は役員改選期にあたることから、会長候補予定者について審議を行い、引き続き阪本会長が推薦されるとともに、本人も内諾し満場一致で承認可決しました。

- 第3号議案 常勤理事の報酬について

・和佐専務理事については、職員兼務役員となっておる状況であるが、協会職員としては12月で定年退職を迎えるため、それ以降の常勤理事としての役員報酬を決定する必要があることから審議を行った結果、年俸650万円とすることで承認可決しました。

【協議事項】

- 第1号議案 新年理事会について

・令和5年1月開催予定の理事会の開催形式について協議を行い、白浜「むさし」において会議並びに新年会を開催することとし、新型コロナウイルスの感染状況によっては正副会長の判断に一任することで意見がまとまったことから、審議に切り替え承認可決しました。

【報告事項】

- (1) トラックの日実行委員会委員長報告について

・事務局よりトラックの日の事業に係る決算報告を行うとともに、榎本委員長より事業実施に係る御礼が述べられました。

広報委員会が開催されました

開催日時 2022年11月24日（木）15時00分～16時30分

開催場所 和歌山県トラック会館 2階会議室

出席者 7名

飯谷 依子、虎谷 勝之、井上 巳喜、渡邊 孝富、綾江 憲二、弓庭 幸洋、
秋山 総一郎

【事務局】上西 克紀、市坪 幸男、高田 敦久

【オブザーバー】岩木 隆尚



議 題

- (1) 若者向け啓発広告等について
- (2) その他について

去る11月24日和歌山県トラック会館2階会議室において広報委員会が開催され、冒頭に委員長より挨拶があり、上記の議題について検討を行った。

啓発広告として位置情報サービスを活用したインターネット広告について掲載期間が終了したため、結果の集計を元に検討を行った、しかし詳細な説明を行って欲しいとの意見があり、次回広告業者を招聘し再度検討を行うこととなった。

啓発ポスターについて岩木氏の案を元に検討を重ね、見積金額も含めて詳細に検討していくこととなった。

求人情報サイトの構築について

（無料採用ホームページ制作サポートのご案内）

当協会では、人材確保対策の一環として、和ト協ホームページに会員事業所求人情報のリンクページを設置しており、各会員事業所の求人情報の検索ができるようになっております。

また、採用ホームページを開設していない会員事業者におかれましては、株式会社リクルートの「Airワーク採用管理」をご利用いただくことで、採用ホームページ公開までサポートが提供されることとなっております。ご利用は無償となっておりますとともに僅少の作業でサイトが開設できます。また、「求人特化型検索エンジンindeed」にも自動掲載されます。

当事業の詳しい説明につきましては、和ト協ホームページ

(<https://www.watokyo.org/recruitment.html>) に説明動画がございますのでご覧下さい。

※本件に関するお問合せ先：和歌山県トラック協会業務課（TEL：073-422-6771）

「インボイス制度施行に向けた説明会」並びに「運輸防災マネジメント講習会」が開催されました

11月18日（金）和歌山市の「ホテルグランヴィア和歌山」に於いて「インボイス制度施行に向けた説明会」及び「運輸防災マネジメント講習会」が会員を対象に49名参加のもと開催されました。

インボイス制度は和歌山税務署 大石統括国税調査官から詳細な説明があり、令和5年10月1日から施行される消費税の軽減税率に伴う仕入れ税額控除制度について理解を深めました。

また、新しく運輸安全マネジメントに令和3年8月より運輸防災マネジメントの指針が追加されたことを受け、自動車事故対策機構 藤原マネージャーより運輸防災マネジメントとはこういったものなのかの説明していただきました。

受講された皆様は、熱心に聴講されておりました。



（公社）和歌山県トラック協会 小浦副会長



和歌山税務署 大石統括国税調査官



自動車事故対策機構 藤原マネージャー



令和4年度 物資輸送・災害情報収集伝達訓練が開催されました

11月8日（火）、和歌山県橋本市「和歌山県立橋本体育館」に於いて、地元自治体や関係企業など参加のもと令和4年度物資輸送・災害情報収集伝達訓練が行われました。

同訓練は、和歌山県南方沖でマグニチュード8.7の地震が発生し、県内各地で地震及び津波による大規模災害が発生し、大規模災害時における救援物資の輸送等について、実際に広域防災拠点を開設し、災害時の対応を確認するとともに、職員の対処能力の向上と事務の円滑化を図ることを目的としたもので、この訓練に（公社）和歌山県トラック協会からは、「緊急輸送に関する協定」により、和歌山県災害対策本部の要請を受けた、（株）豊運輸サービスの車両1台と運転者1名・補助者1名の合計2名の会員が県の資材や備蓄物資を和歌山市の日本通運（株）和歌山支店及び橋本市の橋本保健所に受取に行き、和歌山県立橋本体育館において、物資の積み卸しに和歌山県倉庫協会の協力の下、訓練に参加し本番さながらの訓練が繰り広げられました。



鳥インフルエンザに係る資材輸送協力を行いました

11月29日、和歌山市の養鶏農場において高病原性鳥インフルエンザが発生し、和歌山県では国の指針に基づき当該農場の飼養鶏の殺処分等防疫措置が行われることとなり、当協会では和歌山県からの依頼を受けて、11月29日、12月1日に和歌山県内各地に保管されている医療用廃棄物容器、防護服等の備蓄資材を会員事業者7社の協力を得て和歌山市の養鶏農場、県庁南別館に輸送致しました。

ご協力頂きました会員様・ドライバー・助手の皆様には誠に有難うございました。

2022年度各種助成金 申請状況

2022年12月20日現在

2022年度 助成金	予算額(千円)			申請額 (千円)	実行率 (%)	申請締切日
	全ト協	和ト協	合計			
ドライバー等安全教育訓練促進助成金	1,240		1,240	632	51	2023年3月31日
睡眠時無呼吸症候群(SAS)スクリーニング検査助成金	1,060		1,060	480	45.3	2022年12月28日(実績報告は2023年2月28日)
環境対応車導入助成金	※1	1,000	1,000	288	28.8	2023年1月31日(車両登録は2023年3月10日)
安全装置等助成金	2,120	1,600	3,720	825	22.2	2023年2月28日
ドラレコ機器等導入促進助成金		2,000	2,000	400	20	
蓄熱マット等購入助成金		500	500	35	7	2023年1月31日
アイドリングストップ支援機器導入助成金	480		480	0	0	2023年2月28日
血圧計導入促進助成金	※2			0	0	
グリーン経営認証助成金		200	200	20	10	
上位運転免許(大型・中型・けん引)・準中型取得助成金	※3	2,900	2,900	1,130	39	
定期健康診断助成金		8,000	8,000	2,749	34.4	
信用保証料助成金	※4	1,000	1,000	68	6.8	
点呼支援機器等導入助成金	※5			200		
Gマークステッカー購入助成金		500	500	0	0	

※1 全国で200,000千円

※2 全国で30,000千円

※3 全ト協 準中型免許のみ助成 全国で98,700千円

※4 全国で40,000千円

※5 全国で100,000千円

2022年12月20日現在の各種助成金の申請状況です。

○助成金申請書・要綱等は和ト協ホームページよりダウンロードできますのでご利用いただくか和歌山県トラック協会・交付金課宛ご連絡下さい。

○蓄熱マット助成金申請については、指定取扱機関の和歌山県貨物運送事業協同組合連合会(TEL073-422-2822)に申請して下さい。

○但し、予算に達した時点で終了となりますのでご了承下さい。

○Gマークステッカー助成金については1月4日から申請受付。今年度取得、更新事業所に限ります。

和歌山第1・第2ブロック親睦ゴルフコンペが開催されました

秋晴れの下、第9回和歌山第1・第2ブロック合同の親睦ゴルフが、11月12日(土)紀の国カントリー倶楽部にて開催され、31名の参加者が和気あいあいとプレーを楽しみました。

当日は、池田政隆和歌山第2ブロック長の挨拶で開会し、終了後には表彰式を行いました。

優勝は玉置明也氏、10位までの入賞された方々は下記の通りです。

尚、多数の企業様等にご賛同頂きました事、厚く御礼申し上げます。

成績ベスト10

令和4年11月12日(土)

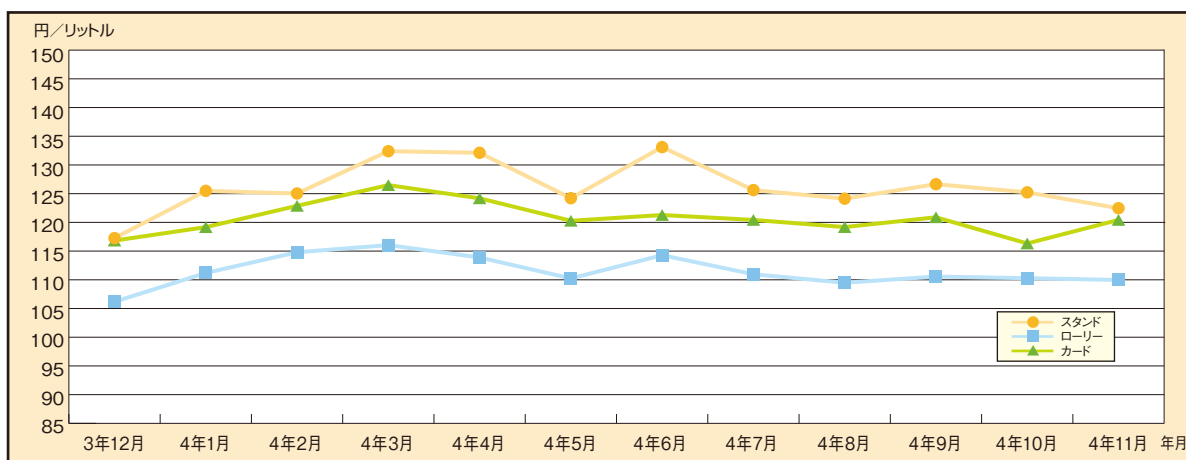
順位	氏名	アウト	イン	トータル	HDCP	ネット
優勝	玉置 明也	46	52	98	26.4	71.6
準優勝	岡崎永里子	53	52	105	32.4	72.6
3	高瀬 憲和	44	50	94	20.4	73.6
4	大浦 寛海	46	44	90	15.6	74.4
5	片山 正樹	48	48	96	21.6	74.4
6	渡辺 正巳	55	50	105	30	75
7	古澤 幸夫	50	54	104	28.8	75.2
8	岩崎 昭	43	41	84	8.4	75.6
9	寺本 尚弘	45	45	90	14.4	75.6
10	田浦 稔和	47	49	96	20.4	75.6



軽油価格調査集計表

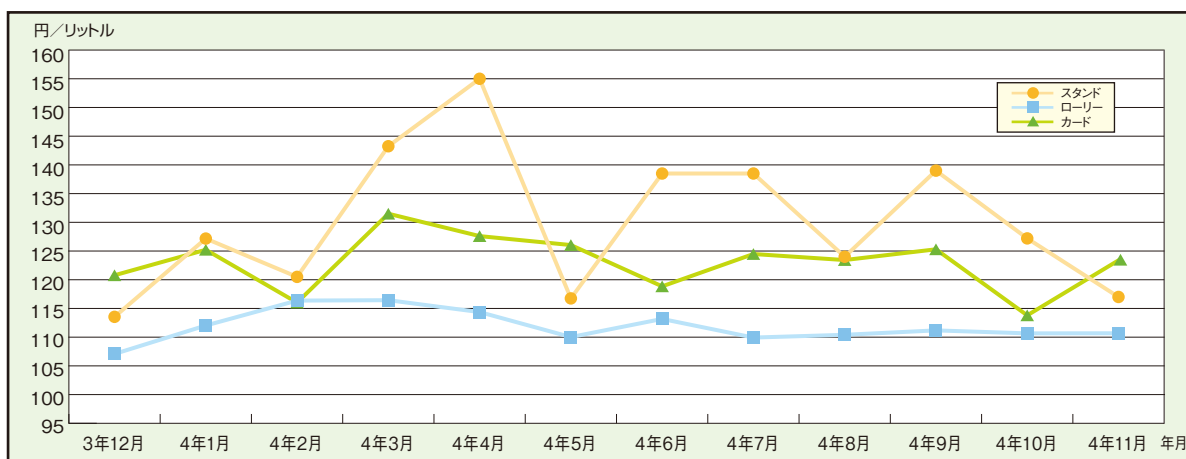
令和4年12月26日現在
(公社) 全日本トラック協会

軽油価格推移グラフ (近畿)



	スタンド	前月比	ローリー	前月比	カード	前月比
2021年 12月	117.26	-4.49	106.18	-5.40	116.83	-3.77
2022年 1月	125.49	8.23	111.19	5.01	119.17	2.34
2022年 2月	125.03	-0.46	114.80	3.61	122.88	3.71
2022年 3月	132.40	7.37	116.04	1.24	126.49	3.61
2022年 4月	132.12	-0.28	113.89	-2.15	124.19	-2.30
2022年 5月	124.21	-7.91	110.24	-3.65	120.28	-3.91
2022年 6月	133.11	8.90	114.28	4.04	121.28	1.00
2022年 7月	125.62	-7.49	110.97	-3.31	120.43	-0.85
2022年 8月	124.13	-1.49	109.49	-1.48	119.18	-1.25
2022年 9月	126.65	2.52	110.56	1.07	120.89	1.71
2022年 10月	125.23	-1.42	110.28	0.28	116.33	-4.56
2022年 11月	122.47	-2.76	109.97	-0.31	120.43	4.10

軽油価格推移グラフ (和歌山)



	スタンド	前月比	ローリー	前月比	カード	前月比
2021年 12月	113.54	-4.71	107.08	-4.98	120.78	-2.37
2022年 1月	127.17	13.63	112.03	4.95	125.22	4.44
2022年 2月	120.50	-6.67	116.37	4.34	116.02	-9.20
2022年 3月	143.25	22.75	116.44	0.07	131.50	15.48
2022年 4月	155.00	11.75	114.37	-2.07	127.60	-3.90
2022年 5月	116.75	-38.25	110.02	-4.35	126.04	-1.56
2022年 6月	138.50	21.75	113.17	3.15	118.85	-7.19
2022年 7月	138.50	0.00	109.93	-3.24	124.48	5.63
2022年 8月	124.00	-14.5	110.41	0.48	123.43	-1.05
2022年 9月	139.00	15.0	111.18	0.77	125.30	1.87
2022年 10月	127.20	-11.8	110.66	-0.52	113.80	-11.5
2022年 11月	117.00	-10.2	110.68	0.02	123.38	9.58

協会日誌

開催日	行 事	開催地
2022年 12月	1日 全ト協・理事会	東京都
	2日 正副会長会議	和歌山市
	7日 和歌山県高速道路交通安全協議会・街頭啓発	//
	12日 整備管理者選任後研修	//
	// 全ト協・適正化事業委員会	東京都
	13日 グリーン経営認定講習会	和歌山市
	14日 地方自治法第199条第7項の規定に基づく監査の予備監査	//
	16日 近畿地区物流政策懇談会	大阪市
	19日 田中前滋ト協会長お別れの会	大津市
開催日	行 事 予 定	開催地
2023年 1月	6日 和歌山県経済団体連合会2023年新春賀礼会	和歌山市
	10日 適正化指導員連絡会議	//
	11日 正副会長・総務委員会・交付金運営委員会合同会議	//
12日～13日	全国専務理事業務連絡会議	東京都
	20日 理事会	白浜町
	21日 紀南ブロック・親睦ゴルフコンペ	印南町
	23日 整備管理者選任後研修	和歌山市
	24日 全ト協・新年賀詞交歓会	東京都
	26日 広報委員会	和歌山市
	27日 近ト協・幹事会	大阪市
	// 整備管理者選任後研修	田辺市
	31日 運行管理者試験受験対策講習会（重点ポイント編）	和歌山市
開催日	行 事 予 定	開催地
2023年 2月	2日 整備管理者選任後研修	新宮市
	3日 令和4年度災害救援物資関係協定企業担当者会議	和歌山市
	9日 全ト協・経営改善・情報化委員会	東京都
	10日 トラック輸送における取引環境・労働時間改善和歌山協議会	和歌山市
	// 全ト協・交通対策委員会	東京都
	13日 全ト協・労働安全・衛生委員会	//
	14日 近ト協・理事会	大阪市
	// 運行管理者試験受験対策講習会（テスト実践編）	和歌山市
	15日 正副会長・総務委員会・交付金運営委員会合同会議	//
	16日 全ト協・適正化事業委員会	東京都
	17日 令和4年度近畿運輸局自動車関係功労者表彰式	大阪市
	// 全ト協・青年部会全国大会	東京都
	21日 改善基準告示見直しに係る説明会	田辺市
	// 全ト協・環境対策委員会	東京都
	22日 改善基準告示見直しに係る説明会	和歌山市
	24日 近畿交通共済協同組合・事故防止セミナー、地区委員会	//
	28日 適正化評議委員会	//

◆令和4年 第2期 優秀安全運転事業所（10月31日付け）1事業者

11月2日 和歌山西警察署 銅賞

辻岡運輸株式会社

代表取締役 中嶋 直人 様



◆令和4年 理事長感謝状（11月1日付け）1事業者

西濃運輸株式会社 和歌山支店

支店長 井上 勝仁 様 ・ チーフマネージャー 津呂 宗希 様



搭乗者共済

組合員のみなさまへ

随時変更可能!

令和4年

実施開始日

11月1日

死亡・後遺障害につき

**2000万円・3000万円の
共済金額を新設しました**

搭乗者共済は契約車両に乗車中の人
(運転者を含みます)が交通事故によっ
てケガをされたときや死亡されたときに
支払われる共済金です。

自損事故共済金や事故加害者からの
賠償金が支払われるときも、受け取る
ことができる手厚い補償です。



新 設

共済金額			300万円	500万円	1,000万円	2,000万円	3,000万円
基本共済掛金 (年間)	営業用普通貨物車 (2t超)/1台		3,000円	5,000円	10,000円	13,900円	17,800円
搭乗者共済種目	死亡共済金		300万円	500万円	1,000万円	2,000万円	3,000万円
	※1 ※2 医療共済金 (180日限度)	入院	日額 4,500円	日額 7,500円	日額 15,000円	日額 15,000円	日額 15,000円
		通院	日額 3,000円	日額 5,000円	日額 10,000円	日額 10,000円	日額 10,000円
	後遺障害共済金		後遺障害の程度に応じて共済金額の4%から100%				

※1入院15,000円/日、通院10,000円/日が上限です

※2平常の生活または業務に従事することができる程度になおった日までの治療日数に対してお支払いする共済金です

近畿交通共済協同組合

〒536-0014 大阪市城東区鶴野西 2-11-2

営業課(本部)直通 TEL:06-6965-2824 FAX:06-6965-2844

近畿交通共済協同組合
<https://www.kinkyo.or.jp>



自動車共済・自賠責共済はぜひ近畿共済でご契約を

近畿共済は、組合員のみなさまと一体となって事故防止に努力しています

お問い合わせ・ご連絡は 当組合和歌山事務所 073-403-6486

近畿共済お見積りキャンペーンを実施中

1月1日～3月13日

ホームページからご応募ください

近畿交通共済以外の自動車保険をご契約中の一般・軽貨物運送事業者が対象です。
無料お見積りをご利用いただき、ご応募ください。

近畿共済お見積りキャンペーン

① ホームページ上での お見積りのご利用

② 本紙の裏面に記入し、 保険証券と一緒にFAX

1・2どちらかの応募で 近江牛が当たる!

キャンペーン 期間 2023年 1/1~3/13

キャンペーン対象条件

近畿交通共済以外の自動車保険をご契約中の 一般・軽貨物運送事業者で、キャンペーン期間中に 上記1・2の方法でご応募いただいた方。
(自動車共済のご契約は必要ありません)

当選者の抽選および発送

厳正な抽選を行い当選者を決定させていただきます。
当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。
なお、転居等によりご住所が不明で賞品をお届けできない 場合には、当選を無効とさせていただきます。

すき焼き用 近江牛 1kg
当選人数: 20名
PRESENT CAMPAIGN

トラック協会関連団体の当組合だから 運送事業者様のニーズが分かる! 運送事業者様を全力サポート!!

注意事項

- ・1法人につき、1抽選券とします。
- ・お車の種類やお見積り条件によっては、お見積りできない場合がございます。その場合は当キャンペーンの対象外とさせていただきます。
- ・本キャンペーンの権利はご本人さまに限り、他人への譲渡・無効は出来ません。
- ・近畿交通共済に契約がある方は応募できません。
- ・本キャンペーンの内容につきましては予告なく変更、終了、または期間が延長される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・応募は日本国内に在住の方で、かつ賞品のお届け先が日本国内の方に限らせていただきます。
- ・抽選結果についてのご質問、お問い合わせは承っておりません。

個人情報取扱の取扱い

ご提供いただいたお客様の個人情報は、今後お客様に対する商品・サービスに関する情報のご提供、商品改善・新商品開発のために利用させていただきます。これ以外の目的には使用しません。弊組合の個人情報保護方針についての詳細は、弊組合ホームページをご覧ください。

無料お見積りで キャンペーンに 応募しよう!

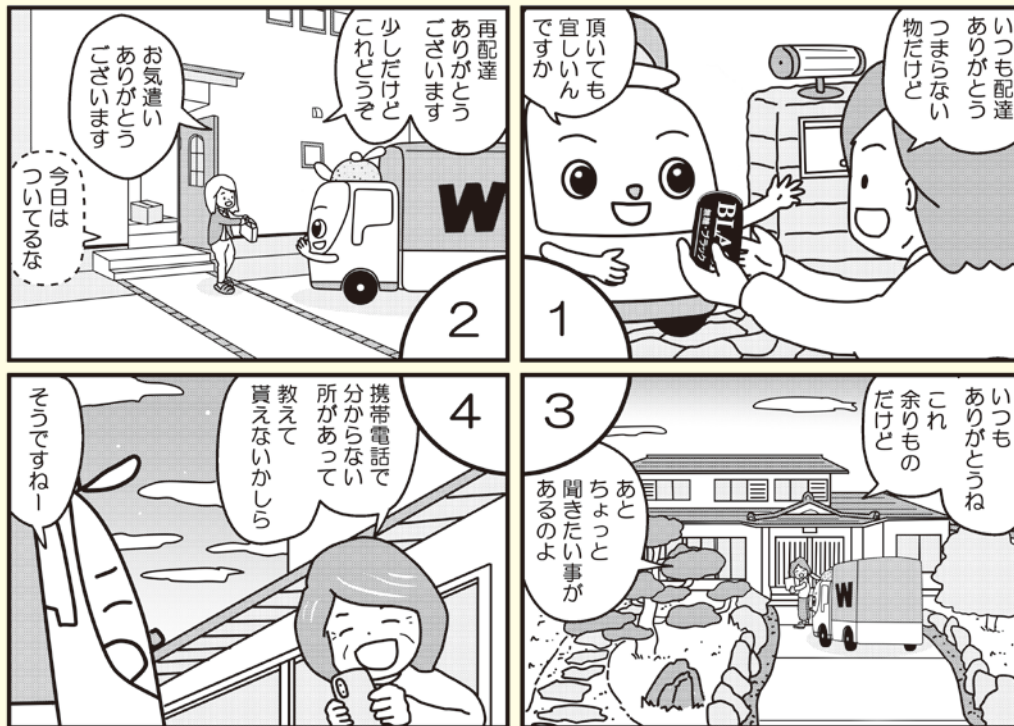
近畿交通共済協同組合
https://www.kinkyō.or.jp

ホームページ から 応募ができる!

自動車共済・自賠責共済はぜひ近畿共済でご契約を

近畿共済は、組合員のみなさまと一体となって事故防止に努力しています

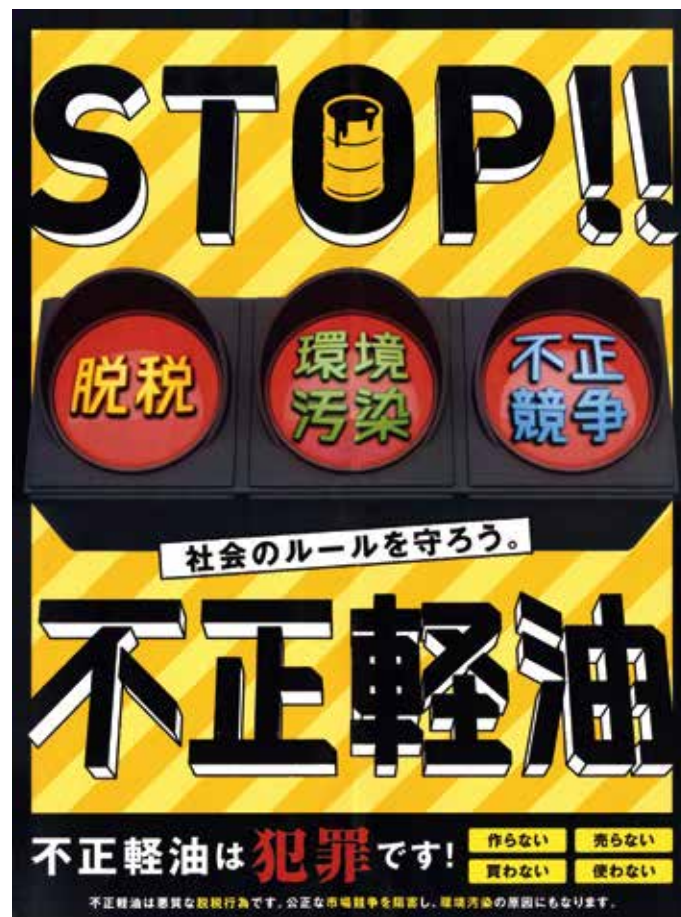
お問い合わせ・ご連絡は 当組合和歌山事務所 073 - 403 - 6486



わが家

vol.119

まんが/フミ



和歌山県

不正軽油に関する情報をお寄せください。
和歌山県不正軽油110番 0120-258-174



積雪路・
凍結路を走るなら

ノーマル
タイヤ

NO



積雪路



凍結路

冬場になると、道路の積雪や凍結により、ノーマルタイヤを装着した車両が立ち往生して、深刻な交通渋滞や通行止めを引き起こしています。

詳しい
情報は
コチラ



積雪・凍結道路ですべり止めの措置をとらない運転は

法令違反 となります。

都道府県道路交通法施行細則または道路交通規則にて積雪または凍結した路面での冬用タイヤの装着等いわゆる防滑措置の義務が規定されています。(沖縄県を除く)
違反行為は、反則金の適用となります。(大型：7千円、普通：6千円、自動二輪：6千円、原付車：5千円)

※ タイヤチェーン未装着車の通行を禁止する規制時は、冬用タイヤであっても、タイヤチェーンの装着が必要です。

一般社団法人日本自動車タイヤ協会

後援：国土交通省近畿地方整備局／国土交通省近畿運輸局／NEXCO西日本関西支社／
一般社団法人日本自動車連盟関西本部

冬の安全ドライブ事前注意報

2022年9月発行

突然の積雪や路面凍結時には事故・トラブルが発生しています

冬の安全ドライブには
事前の備えが重要です

非降雪地域
でも
冬用タイヤの装着
をお奨めします



降雪地域
では
早めの冬用タイヤ装着
が大切です

積雪・凍結路面時の事故発生件数

＜東京、愛知、大阪、広島、福岡 合計＞



JAFロードサービス救援要請件数

＜中部エリア降雪時＞

降雪時、JAFのロードサービスの
救援要請は、急増しています。

	中部エリア計	前週比
降雪前週3日間	4,971	
降雪3日間	7,312	147%

データ提供元：JAF中部本部
降雪前週3日間：2021年12月20日～22日
降雪3日間：2021年12月27日～29日

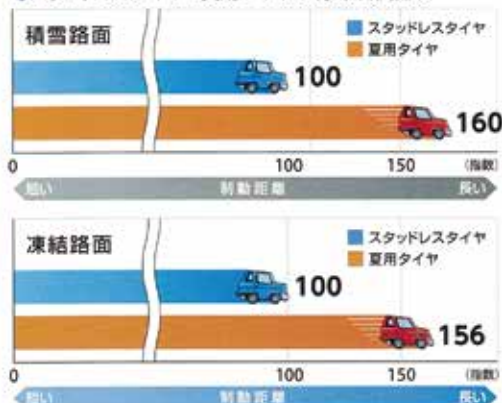
積雪、凍結路で冬用タイヤを装着していないと…



制動距離が違う

夏用タイヤのままでは、制動距離が長くなります。

●スタッドレスタイヤと夏用タイヤの制動距離指数



旋回性能が違う

駆動輪のみ冬用タイヤを装着しても
夏用タイヤ(全車輪)並みの性能で、
挙動が安定しません。

●スタッドレスタイヤと 夏用タイヤの旋回性能指数



スタッドレスタイヤでのラップタイムを100として指数表示し、指数が大きい方がラップタイムが遅くなり、旋回性能が劣ることを示す。

冬用タイヤを全車輪に装着してください!

一般社団法人日本自動車タイヤ協会

後援：国土交通省近畿地方整備局／国土交通省近畿運輸局／NEXCO西日本関西支社／
一般社団法人日本自動車連盟関西本部



和歌山県トラック協会テーマ曲 「さあいこう」

作詞/作曲/編曲 和歌山県トラック協会

(1番)

ハンドル握り アクセル踏んで 荷台に いーっぱい 夢を乗せて
晴れた時でも 嵐の日でも待ってる人が そこにいるから

朝日かがやく 海岸走り
星のきらめく あの丘越えて

さあいこう さあいこう
君の笑顔に 会いに
さあいこう さあいこう
未来へ

和歌山県 トラック協会

(2番)

今日も笑顔で 安全運転 優しい気持ちを いつも胸に
細い道でも 広い道でも マナーを守る 気配り上手

潮の香りの 岬をまわり
みかんの花咲く あの山のぼる

さあいこう さあいこう
幸せ 届けるため
さあいこう さあいこう
みんなと

和歌山県 トラック協会

(サビ繰り返し)

さあいこう さあいこう
君の笑顔に 会いに
さあいこう さあいこう
未来へ

和歌山県 トラック トラック トラック協会



「さあいこう」がカラオケ配信されています。(JOYSOUND、UGA、DAM)



発行：公益社団法人 和歌山県トラック協会
編集：公益社団法人 和歌山県トラック協会広報委員会
〒640-8404 和歌山市湊1414 TEL.073-422-6771
<https://www.watokyo.org>